

市長コラム

人を育てる「当たり前」

いなべ市長
日沖 靖



講師の義家弘介先生

先日、ヤンキー先生で話題の義家先生をお招きして、PTA主催の子育て講演会が開かれました。その中で話された、人を育てる3つの「当たり前」を紹介したいと思います。

1つ目は相手の話を良く聞くということです。その際、表面的な声だけではなく、相手が求めている心の叫びを感じ取ることが大切です。特に、思春期は心と裏腹のことを口にすることがしばしばです。「あなたなんか大嫌い！」は「好き」なのかもしれません。

2つ目は自分の思いをはっきりと伝えることです。家族の中でいちいち「ありがとう」は要らないと考えていませんか？「心で分かり合っていれば良い」と思い込んでいると熟年離婚になりかねません。感謝の気持ちを言葉にしてはっきりと伝えることが大切です。

3つ目は大人がまず模範を示すことです。お父さんが寝転がってプロ野球を見ながら子どもに「勉強しろよ！」では説得力がありません。まず、大人が少しでも「良くなるよう」と努力している姿を示すことです。

講演を終え、人を育てる「当たり前」の難しさを痛感しました。

子どもと接する時間が増える夏休み、少し、この「当たり前」をやってみませんか。



6月25日(日) 中央公民館

全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

8月28日(月)～9月3日(日)

子どもの人権110番 (全国共通) ☎0570(070)110

受付時間 8:30～18:30 ただし、土・日曜日は10:00～17:00

「いじめ」など子どもの人権に関する相談電話。悩みや疑問があったらお聞かせください。津地方法務局職員または人権擁護委員(子どもの人権専門委員)がお受けします。(PHS・IP電話からは接続できません)

育てよう 一人一人の 人権意識
思いやりの心・かけがえのない命を大切に

問い合わせ先 津地方法務局人権擁護課 ☎059(228)4193

問い合わせ先 大安庁舎 人権啓発課 ☎78-3508 FAX78-1114

